

(検査員)

工事成績採点の考査項目別運用表

別紙③

2 ・ I ・ 施工管理	評価(a~e)	対象	該当	
	該当項目数 評価対象項目数 (0) ÷ (0) = 評価値% () 評価 判断基準 [評価値%] a : 90%以上 b : 80%以上90%未満 c : 80%未満 ※削除後の評価対象項目が 2項目以下の場合にはC評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った。
	e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。

	a	a'	b	b'	c	d	e
	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b'に該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
3 ・ I ・ 出来形	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している事が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真（監督員等が臨場した箇所は除く）で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他（)</p> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p>						

※1. 「品質」及び「出来ばえ」の評定は、主たる工種を抽出し、「選択」ボタンを押してください。

(評定対象を抽出してください。)

※2. 「品質」及び「出来ばえ」の評定対象は、最大2工種までとしてください。

		主 たる 工 種
選択	<input type="checkbox"/>	コンクリート構造物工事
選択	<input type="checkbox"/>	土工事 (切土)
選択	<input type="checkbox"/>	土工事 (盛土・築堤等)
選択	<input type="checkbox"/>	護岸・根固・水制工事
選択	<input type="checkbox"/>	鋼橋工事 (工場製作) <small>RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる</small>
選択	<input type="checkbox"/>	鋼橋工事 (架設) <small>RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる</small>
選択	<input type="checkbox"/>	砂防構造物工事
選択	<input type="checkbox"/>	地すべり防止工事 (抑止杭・集水井戸工事を含む)
選択	<input type="checkbox"/>	舗装工事 (路床・路盤工関係)
選択	<input type="checkbox"/>	舗装工事 (アスファルト舗装工関係)
選択	<input type="checkbox"/>	舗装工事 (コンクリート舗装工関係)
選択	<input type="checkbox"/>	舗装工事 (インターロッキング工関係)
選択	<input type="checkbox"/>	法面工事 (各種吹付工関係)
選択	<input type="checkbox"/>	法面工事 (コンクリート又はモルタル吹付工関係)
選択	<input type="checkbox"/>	法面工事 (現場打 [プレキャスト] 法枠工関係)
選択	<input type="checkbox"/>	基礎工 (杭関係) <small>コンクリート、鋼管、場所打ち、深礎等</small>
選択	<input type="checkbox"/>	基礎工 (地盤改良関係)
選択	<input type="checkbox"/>	海岸工事
選択	<input type="checkbox"/>	コンクリート橋上部工事 (PC・RC)
選択	<input type="checkbox"/>	塗装工事

		主 たる 工 種
選択	<input type="checkbox"/>	トンネル工事
選択	<input type="checkbox"/>	植栽工事
選択	<input type="checkbox"/>	防護柵 (網) 工事
選択	<input type="checkbox"/>	標識工事
選択	<input type="checkbox"/>	区画線工事
選択	<input type="checkbox"/>	電線共同溝工事
選択	<input type="checkbox"/>	維持工事 (清掃工、除草工、付属物工、応急処理等)
選択	<input type="checkbox"/>	修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)
選択	<input type="checkbox"/>	公園工事
選択	<input type="checkbox"/>	港湾構造物工事 (本体工) 杭及び矢板、控工関係
選択	<input type="checkbox"/>	港湾構造物工事 (本体工) ケーソン据付関係
選択	<input type="checkbox"/>	港湾構造物工事 (本体工) ブロック据付関係
選択	<input type="checkbox"/>	港湾構造物工事 (付属工関係)
選択	<input type="checkbox"/>	港湾構造物工事 (浚渫・床掘関係)
選択	<input type="checkbox"/>	港湾構造物工事 (捨石基礎関係)
選択	<input type="checkbox"/>	下水道工事
選択	<input type="checkbox"/>	水道工事
選択	<input type="checkbox"/>	管更生工事
選択	<input type="checkbox"/>	上記以外の工事

品質総合評価

【品質総合評点】

$$\frac{\sum (\text{品質評点})}{\sum (\text{評定対象数})} = \frac{0}{0} = \quad \text{点}$$

出来ばえ総合評価

【出来ばえ総合評点】

$$\frac{\sum (\text{出来ばえ評点})}{\sum (\text{評定対象数})} = \frac{0}{0} = \quad \text{点}$$

・総合評価

a…総合評点 ≥ 90 < 90で計算 >

a'…総合評点 ≥ 80 < 80で計算 >

b…総合評点 ≥ 70 < 70で計算 >

b'…総合評点 ≥ 60 < 60で計算 >

c…総合評点 ≥ 50 < 50で計算 >

d…総合評点 > 20 < 30で計算 >

e…2工種選択の場合1工種にe評定があれば「e」

選 択

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、
この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(0)	÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

d 評価 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e 評価 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

考查項目別運用表(検査員用)

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、
この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

3・II・品質・コンクリート構造物

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	有害なクラックが無い。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、
この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法面に有害な亀裂が無い。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・土工事(切土)

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

3・II・品質・土工事(盛土・築堤等)

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。
該当項目数 (0) ÷ (0) =評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法面に有害な亀裂が無い。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

3
・
II
・
品質
・
護岸
・
根固
・
水制
工事

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。
該当項目数 評価対象項目数 (0) ÷ (0) =評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	指定材料の品質が、証明書類で確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	有害なクラックが無い。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

3・II・品質・鋼橋工事（工場製作）RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鋼材の種別、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	欠陥部の発生が見られないことが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

3
・
II
・
品質
・
鋼橋
工事
(
架設)
RC
床版
工事は
コンクリート
構造物に
準ずる

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、
この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋及び鋼材の品質を、適切に管理していることを確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	有害なクラックが無い。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・砂防構造物工事

抽出

3・II・品質・地すべり防止工事（抑止杭・集水井戸工事を含む）

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋及び鋼材の品質を、適切に管理していることを確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	有害なクラックが無い。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
(0) ÷ (0)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・舗装工事 (路床・路盤工関係)

抽出

3・II・品質・舗装工事（アスファルト舗装工事関係）

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。
(0) ÷ (0)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

3・II・品質・舗装工事（コンクリート舗装工事関係）

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。
該当項目数 (0) ÷ (0) =評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

3. II. 品質・舗装工事（インターロッキング工関係）

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地の状況を検討した施工計画書を作成し、適切な品質管理を行っていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工基面が、平坦で十分に締め固まった状態であることが確認できる。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	舗装厚が工事記録で確認できる。
(0) ÷ (0)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用材料の使用量が適正であることが確認できる。
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用材料の品質が確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：）
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

3・II・品質・法面工事(種子吹付工関係)

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。
(0)	(0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。
=評価値()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吹付け厚さが均等であることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書仕様を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

3・II・品質・法面工事（コンクリート又はモルタル吹付工関係）

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係）
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書仕様を満足していることが確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	金網が破損を生じていないことが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吹付け厚さが均等であることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

3・II・品質・法面工事（現場打「プレキャスト」法枠工関係）

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係）
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。
該当項目数 評価対象項目数 (0) ÷ (0) =評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現場養生が、設計図書仕様を満足するように実施されていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	枠内に空隙が無いことが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	層間にはく離が無いことが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不良箇所が生じないように跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

3・II・品質・基礎工事（杭関係）コンクリート、鋼管、場所打ち、深礎等

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。
該当項目数 評価対象項目数 (0) ÷ (0) =評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	場所打杭について、トレー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：）
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
評価値 90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)= 該当項目数() / 評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

3
II
品質・基礎工事(地盤改良関係)

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。
該当項目数 評価対象項目数 (0) ÷ (0) =評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書仕様を満足していることが確認できる。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
(0)	÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:)
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・海岸工事

抽出

3. II. 品質・コンクリート橋上部工事（PCC・RC）

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋の品質を、適切に管理していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	スペーサーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プレビーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	PCC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プレストレス時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	有害なクラックが無い。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、
この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケレンを入念に実施していることが確認できる。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。
(0) ÷ (0)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・塗装工事

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、
この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していないことが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3
・
II
・
品質
・
トンネル
工事

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	活着が促されるよう管理していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。
(0)	(0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。
=評価値()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・植栽工事

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ペイント式(常温式)区画線に使用するツナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・防護柵(網)工事

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、
この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。
(0)	(0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。
=評価値()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ペイント式(常温式)区画線に使用するツナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・標識工事

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。
(0) ÷ (0)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ペイント式(常温式)区画線に使用するツナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・区画線工事

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・電線共同溝工事

抽出

3・II・品質・維持工事（清掃工、除草工、付属物工、応急処理等）

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	建造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。
該当項目数 評価対象項目数 (0) ÷ (0) =評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
=評価値()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地の状況を検討した施工計画書を作成し、適切な品質管理を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	材料の品質及び形状について、設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っている。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用材料の使用量が適正であることが確認できる。
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用材料の品質が確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・公園工事

抽出

3・II・品質・港湾構造物工事（本体工）杭及び矢板、控工関係

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地の状況を検討した施工計画書を作成し、適切な品質管理を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工事着手前に周辺調査を行って打設方法を計画し、杭への影響を確認している。
該当項目数 評価対象項目数 (0) ÷ (0) =評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭の打止め管理方法又は現場打杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭の種別、長さ及び間隔が工事記録写真等で確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう、適切に処置されている。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	溶接及び切断の品質管理に関して設計図書の様子を満足している。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用材料の使用量が適正であることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用材料の品質が確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：）
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

3・II・品質・港湾構造物工事（本体工）ケーソン据付関係

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地の状況を検討した施工計画書を作成し、適切な品質管理を行っていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われている。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われている。
(0) ÷ (0)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されている。
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケーソンえい航に先立ち、気象・海象等を十分調査し、適切な時期を選定されている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケーソンえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケーソン注入時の隔壁の水頭差が1 m以内になるように管理されている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケーソン仮置き、据付の時期について、設計図書を満足するよう実施されている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	中詰において海上漏出がないように施工されている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		
e 評価	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。		

抽出

3・II・品質・港湾構造物工事（本体工）ブロック据付関係

●判断基準（維持工事・修繕工事は右記）

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準（維持工事・修繕工事）

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地の状況を検討した施工計画書を作成し、適切な品質管理を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われている。
該当項目数 評価対象項目数 (0) ÷ (0) =評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されている
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ブロックがゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他（理由：
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

3
・
II
・
品質
・
港湾構造物工事(付属工関係)

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地の状況を検討した施工計画書を作成し、適切な品質管理を行っていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	付属工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。
	該当項目数 評価対象項目数 (0) ÷ (0) = 評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用材料の使用量が適正であることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用材料の品質が確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
	e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、
この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。
(0) ÷ (0)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工されていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土捨場に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土質に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。(大型船による施工で、作業日数短縮等も含む)
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3
II
品質
港湾構造物工事(浚渫・床掘関係)

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地の状況を検討した施工計画書を作成し、適切な品質管理を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	捨石、被覆及び根固め石は、仕様書に規定された規格を満足している。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	捨石、被覆石等の石材は扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されている。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されている。
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	捨石、被覆及び根固め石が、ゆるみのないよう堅固に施工されたことが水中写真等で確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用材料の使用量が適正であることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用材料の品質が確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・港湾構造物工事(捨石基礎関係)

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、
この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地の状況を検討した施工計画書を作成し、適切な品質管理を行っていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設計図書に基く材料の規格・材質・寸法が確認できる。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	材料に傷、汚れ等が全くないことが確認できる。
(0) ÷ (0)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	材料が承諾どおりに設置されており、使用材料の使用量が適正であることが確認できる。
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管渠関係において、安全、かつ、確実な方法で施工している状況が確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管渠(管布設・矩形渠布設・推進)工において目立った屈曲や沈下がない。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	人孔において、各部材にはクラック等がなく、インバートは形状、勾配等が適正で漏水がない。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	掘削時の土留め方法や推進時の掘進方法による、周辺地盤への影響が見られない。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管渠関係において、漏水又は浸入水が生じないように接合を確実に施工していることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	足掛金物が確実に設置されている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土工において、復旧又は埋め戻しが適確に施工されていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3
・
II
・
品質
・
下水道工事

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)	対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地の状況を検討した施工計画書を作成し、適切な品質管理を行っていることが確認できる。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	全体の布設状況が確認でき、規定の土被りが確保されていることが確認できる。
該当項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	接続部、曲線部、分岐点等の施工状況および接続が確認でき、適切な処理がされている。
評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	安全、かつ、確実な方法で施工している状況が確認できる。
(0) ÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	支給材の保管管理が適正であることが確認できる。
=評価値 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ボルトの締め付け確認が実施され、適切に記録(トルク値)が保管されている。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	締め固めを適切な条件で施工し、規格値を満足している。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	通水状態、水密性の確認を行っている。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・水道工事

抽出

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、
この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地の状況を検討した施工計画書を作成し、適切な品質管理を行っていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仕様書、特記仕様書等に定められている品質管理が実施されている。
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	材料の品質規格証明書等が整備されている。
(0) ÷ (0)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事前調査において既設管内の布設状況、取付管位置、障害物及び浸入水等の状況を十分に把握し施工を行っている。
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事前処理により、施工時には支障のないよう適切な措置を施している。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仕上がり管体内面には膨れ、しわ、扁平、破損等がなく基準を満足している。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	人孔管口の仕上がりが良い。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	取付管口の仕上がりが良い。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工後の管に漏水がなく、土砂、汚物の堆積等がない。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	硬化性樹脂材を使用する場合、硬化時の時間及び温度管理が適切に行われている。又、製管材を使用する場合、裏込め材の注入量及び性能の管理が適切に行われている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由:
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
d 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e 評価		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

3・II・品質・管更生工事

選択

●判断基準(維持工事・修繕工事は右記)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価 値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
- ④ 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合C評価とする。

●判断基準(維持工事・修繕工事)

- ※ 該当項目が6項目以上……a
 - ※ 該当項目が5項目……a'
 - ※ 該当項目が4項目……b
 - ※ 該当項目が3項目……b'
 - ※ 該当項目が2項目以下……c
- 注)記載の4項目を必須の評価対象項目とし、
この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

※品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する

評価(a~e)		対象	該当	[評価対象項目]
ばらつき		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
該当項目数	評価対象項目数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(0)	÷ (0)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
=評価値 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

- d 評価 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
- e 評価 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

出来ばえ考査項目

3 ・ Ⅲ ・ 出来ばえ	<p>選択</p>	<p>評価(a~d)</p> <p>#</p> <p>a : 優れている b : やや優れている c : 他の評価に該当しない d : 劣っている</p>	<p>該当</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象 項目]</p> <p>上記以外の工事の場合、 評価対象項目数を選択する</p>
	<p>選択</p> <p>上記以外の工事</p>	<p>評価(a~d)</p> <p><対象5項目> <対象4項目></p> <p>4項目以上:a 3項目以上:a 3項目該当:b 2項目該当:b 2項目該当:c 1項目該当:c 1項目以下:d 該当項目無:c</p> <p>a : 優れている b : やや優れている c : 他の評価に該当しない d : 劣っている</p>	<p>該当</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象 項目] …該当工種から考査し、考査項目は4~5項目とする。</p> <p>理由</p> <p>理由</p> <p>理由</p> <p>理由</p> <p>理由</p>

考査項目別運用表 (検査員用)

工 種	評価 (a～d)	a：優れている b：やや優れている c：他の評価に該当しない d：劣っている
コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 海岸工事・トンネル工事	[判断基準] 5項目以上 a 評価 4項目該当 b 評価 3項目該当 c 評価 2項目以下 d 評価	[評価対象 6 項目] コンクリート構造物の表面状態が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 クラックが無い。 漏水が無い。 全体的な美観が良い。
土工事 (切土工事)	[判断基準] 5項目以上 a 評価 4項目該当 b 評価 3項目該当 c 評価 2項目以下 d 評価	[評価対象 6 項目] 規定された勾配が確保されている。 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 全体的な美観が良い。
土工事 (盛土・築堤等)	[判断基準] 4項目以上 a 評価 3項目該当 b 評価 2項目該当 c 評価 1項目以下 d 評価	[評価対象 5 項目] 仕上げが良い。 通りが良い。 天端及び端部の仕上げが良い。 構造物へのすりつけなどが良い。 全体的な美観が良い。

護岸・根固・水制工事	<p>[判断基準]</p> <p>4項目以上 a 評価</p> <p>3項目該当 b 評価</p> <p>2項目該当 c 評価</p> <p>1項目以下 d 評価</p>	<p>[評価対象 5 項目]</p> <p>通りが良い。</p> <p>材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。</p> <p>天端及び端部の仕上げが良い。</p> <p>既設構造物とのすりつけが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
鋼橋工事 (架設、工場製作関係)	<p>[判断基準]</p> <p>4項目以上 a 評価</p> <p>3項目該当 b 評価</p> <p>2項目該当 c 評価</p> <p>1項目以下 d 評価</p>	<p>[評価対象 5 項目]</p> <p>表面に補修箇所が無い。</p> <p>部材表面に傷及び錆が無い。</p> <p>溶接に均一性がある。</p> <p>塗装に均一性がある。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
地すべり防止工事	<p>[判断基準]</p> <p>3項目以上 a 評価</p> <p>2項目該当 b 評価</p> <p>1項目該当 c 評価</p> <p>該当項目なし d 評価</p>	<p>[評価対象 4 項目]</p> <p>地山との取り合いが良い。</p> <p>天端、端部の仕上げが良い。</p> <p>施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>

舗装工事	<p>[判断基準]</p> <p>5項目以上 a 評価</p> <p>4項目該当 b 評価</p> <p>3項目該当 c 評価</p> <p>2項目以下 d 評価</p>	<p>[評価対象 6 項目]</p> <p>舗装の平坦性が良い。</p> <p>構造物の通りが良い。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>構造物へのすりつけ等が良い。</p> <p>雨水処理が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
法面工事	<p>[判断基準]</p> <p>3項目以上 a 評価</p> <p>2項目該当 b 評価</p> <p>1項目該当 c 評価</p> <p>該当項目なし d 評価</p>	<p>[評価対象 4 項目]</p> <p>通りが良い。</p> <p>植生、吹付等の状態が均一である。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
基礎工事(杭、基礎構造物、地盤改良等)	<p>[判断基準]</p> <p>3項目以上 a 評価</p> <p>2項目該当 b 評価</p> <p>1項目該当 c 評価</p> <p>該当項目なし d 評価</p>	<p>[評価対象 4 項目]</p> <p>土工関係の仕上げが良い。</p> <p>通りが良い。</p> <p>端部、天端仕上げが良い。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p>※地盤改良はb評価以下とする。</p> <p>不可視部分は「施工管理記録などから不可視部分の出来映えの良さがうかがえる。」</p> <p>可視部は「土工関係の仕上げが良い。」において施工管理記録などから出来ばえの良さが確認できた場合に評価することとし、地盤改良においては最大2項目の評価とする。</p>

コンクリート橋工事	[判断基準] 5項目以上 a 評価 4項目該当 b 評価 3項目該当 c 評価 2項目以下 d 評価	[評価対象 6 項目] コンクリート構造物の表面状態が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端及び端部の仕上げが良い。 支承部の仕上げが良い。 クラックが無い。 全体的な美観が良い。
塗装工事（工場塗装を除く）	[判断基準] 4項目以上 a 評価 3項目該当 b 評価 2項目該当 c 評価 1項目以下 d 評価	[評価対象 5 項目] 塗装の均一性が良い。 細部まできめ細かな施工がされている。 補修箇所が無い。 ケレンの施工状況が良好である。 全体的な美観が良い。
植栽工事	[判断基準] 3項目以上 a 評価 2項目該当 b 評価 1項目該当 c 評価 該当項目なし d 評価	[評価対象 4 項目] 樹木の活着状況が良い。 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 支柱の取り付けが堅固である。 全体的な美観が良い。

防護柵（網）工事	<p>[判断基準]</p> <p>5項目以上 a 評価 4項目該当 b 評価 3項目該当 c 評価 2項目以下 d 評価</p>	<p>[評価対象 6 項目]</p> <p>通りが良い。 端部処理が良い。 部材表面に傷、錆がない。 既設構造物等とのすりつけが良い。 きめ細やかな施工がなされている。 全体的な美観が良い。</p>
標識工事	<p>[判断基準]</p> <p>4項目以上 a 評価 3項目該当 b 評価 2項目該当 c 評価 1項目以下 d 評価</p>	<p>[評価対象 5 項目]</p> <p>設置位置に配慮がある。 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 標識板の支柱に変色が無い。 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 全体的な美観が良い。</p>
区画線工事	<p>[判断基準]</p> <p>4項目以上 a 評価 3項目該当 b 評価 2項目該当 c 評価 1項目以下 d 評価</p>	<p>[評価対象 5 項目]</p> <p>塗料の塗布が均一である。 視認性が良い。 接着状態が良い。 施工前の清掃が入念に実施されている。 全体的な美観が良い。</p>

電線共同溝工事	<p>[判断基準]</p> <p>3項目以上 a 評価 2項目該当 b 評価 1項目該当 c 評価 該当項目なし d 評価</p>	<p>[評価対象 4 項目]</p> <p>歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 プラスチックブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 全体的な美観が良い。</p>
維持修繕工事	<p>[判断基準]</p> <p>3項目以上 a 評価 2項目該当 b 評価 1項目該当 c 評価 該当項目なし d 評価</p>	<p>[評価対象 4 項目]</p> <p>小構造物等にも注意が払われている。 きめ細かな施工がなされている。 既設構造物とのすりつけが良い。 全体的な美観が良い。</p>
公園工事	<p>[判断基準]</p> <p>4項目以上 a 評価 3項目該当 b 評価 2項目該当 c 評価 1項目以下 d 評価</p>	<p>[評価対象 5 項目]</p> <p>施設構造物の表面状態、通り、収まり等仕上げの状態がよい。 舗装の平坦性が良い。 遊具等の作動が安全でかつ、良好に作動する。 維持管理等の配慮がよい。 全体的な美観が良い</p>

港湾構造物工事（本體工）	<p>[判断基準]</p> <p>5項目以上 a 評価 4項目該当 b 評価 3項目該当 c 評価 2項目以下 d 評価</p>	<p>[評価対象 6 項目]</p> <p>コンクリート構造物の表面状態が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 クラックがない。 漏水がない。 全体的な美観が良い。</p>
港湾構造物工事（付属工 関係）	<p>[判断基準]</p> <p>4項目以上 a 評価 3項目該当 b 評価 2項目該当 c 評価 1項目以下 d 評価</p>	<p>[評価対象 5 項目]</p> <p>通りが良い。 施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 構造物の表面及び端部の仕上げがよい。 きめ細かな施工がなされている。 全体的な美観が良い。</p>
港湾構造物工事（浚渫・ 床掘関係）	<p>[判断基準]</p> <p>4項目該当 a 評価 3項目該当 b 評価 2項目該当 c 評価 1項目以下 d 評価</p>	<p>[評価対象 4 項目]</p> <p>規定された水深・幅・勾配又は改良深度等が確保されている。 施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 浚渫及び盛り等土砂が適切に処理されている。</p>

港湾構造物工事（捨石 基礎関係）	[判断基準] 3項目以上 a 評価 2項目該当 b 評価 1項目該当 c 評価 該当項目なし d 評価	[評価対象 4 項目] 土工関係の仕上げが良い。 通りが良い。 端部、天端仕上げが良い。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
下水道工事	[判断基準] 8項目以上 a 評価 6～7項目 b 評価 4～5項目 c 評価 3項目以下 d 評価	[評価対象 9 項目] 管の通りが良い。 材料のかみ合わせが良い。 漏水がない。 傷やクラックがない。 仕上げが良い。 端部処理が良い。 全体的に美観が良い。 既設構造物との摺り付けがよい。 埋戻し及び路面復旧の状態がよい。
水道工事	[判断基準] 3項目以上 a 評価 2項目該当 b 評価 1項目該当 c 評価 該当項目なし d 評価	[評価対象 4 項目] 鉄蓋類の路面との摺り付けがよい。 弁室内等のずれ、浮き、クラックがない。 端部処理が良い。 全体的に美観が良い。

<p>管更生工事</p>	<p>[判断基準] 6項目以上 a 評価 5項目該当 b 評価 4項目該当 c 評価 3項目以下 d 評価</p>	<p>[評価対象 7 項目] 通りが良い。 仕上げが良い。 漏水がない。 材料のかみ合わせが良い。 傷やクラックがない。 端部処理が良い。 全体的な美観が良い。</p>
	<p>[判断基準]</p>	<p>[評価対象 項目]</p>
<p>上記以外の工事</p>	<p>[判断基準] <対象5項目> <対象4項目> 4項目以上：a 3項目以上：a 3項目該当：b 2項目該当：b 2項目該当：c 1項目該当：c 1項目以下：d 該当項目無：d</p>	<p>[評価対象 項目] …該当工種から考査し、考査項目は4～5項目とする。 理由： 理由： 理由： 理由： 理由：</p>